

北海道大学次世代AI博士人材フェローシップ研究計画書

申請者氏名: _____

研究題目: _____

【作成上の留意事項】この留意事項は提出版では枠ごと削除ください。

- (1) 書体は、日本語は游明朝体(又はヒラギノ明朝)、英数は *Times New Roman* を推奨します。
- (2) フォントサイズは11ptとしてください。参考文献のみサイズ変更可。参考文献も含めて指定のページ数内としてください。
- (3) この様式以外で作成したものは審査対象となりません。
- (4) 本様式の項目【00】～【02】は北海道大学EXEX博士人材フェローシップとの共通記載事項です。
- (5) 斜体部分の記載は提出版では削除ください。
- (6) 行間や余白の指定はありません。

【00】研究の概要（EXEX博士人材フェローシップと共通）

「【01】研究背景、研究目的、研究方法」および「【02】研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイディア」に記載した内容の概要について、焦点を絞り、1頁以内で簡潔にまとめて記述してください。斜体部分の記載は提出版では削除ください。

【01】研究背景、研究目的、研究方法（EXEX博士人材フェローシップと共通）

①フェローシップにおいて取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯について、参考文献を挙げて記入してください。

②目的、年次計画、方法等について、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的かつ明確に記入してください。

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、2頁以内とすること。）

※在学生はこれまでの研究業績を中心に記述していただいても構いません。斜体部分の記載は提出版では削除ください。

① フェローシップにおいて取り組む研究の位置づけ

② 目的、年次計画、方法等

【02】研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイデア（本フェローシップに応募する理由）（EXEX博士人材フェローシップと共通）

①研究成果が科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に応用、実装するに至るアイデアや新たに創出される社会的価値などについて記述してください。

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1頁以内とすること。）

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイデア

【03】研究遂行能力の自己分析、研究業績

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、「7. 成果物件数のまとめ」を含めて、4頁程度とすること。)斜体部分の記載は提出版では削除ください。

① 応募者の研究遂行能力

(これまでの研究活動の具体的な内容等により本研究を遂行するための能力を示す等、必要に応じて今回の研究構想に直接関係しないものを含めてもよい。例:専門分野に直接関係しない授業や特別教育プログラムの履修や参加、シンポジウム・セミナーへの参加状況、留学経験、学内外における団体での活動)

② 研究業績として学術雑誌・国際会議等に発表した論文、総説、国内学会・シンポジウム等における発表、特許等、受賞歴等

成果物のリストを下記のカテゴリにしたがって作成してください。通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者名にアンダーラインを付してください。学術雑誌・国際会議等に発表した論文は別紙として添付してください。採択済みで出版前の場合は、論文とともに採択通知を添付してください。

1. 筆頭著者として発表した学術雑誌論文、国際会議論文(論文を添付すること、ただし採択済みで出版前の場合は、論文とともに採択通知を添付すること)

採択済みの論文に限る。著者(申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。著者順がアルファベット順である等、貢献度順でない論文は筆頭に申請者氏名がなくても可)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、開始頁ー最終頁、発行年をこの順で記入してください。

1-1a 人工知能(Artificial Intelligence)を中心とした計算機科学(Computer Science)関連トップ学術雑誌論文(査読有)

(成果物論文リスト.xlsx > 1-1a_AI関連トップジャーナル 記載の論文誌掲載論文)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Journal, Publisher, Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-1b 人工知能(Artificial Intelligence)を中心とした計算機科学(Computer Science)関連トップ国際会議論文(査読有、本会議論文に限る)

(成果物論文リスト.xlsx > 1-1b_AI関連トップカンファレンス記載の国際会議発表論文)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Conference, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-2a 計算機科学(Computer Science)関連トップ学術雑誌論文(査読有)

(成果物論文リスト.xlsx > 1-2a_計算機科学関連トップジャーナル 記載の論文誌掲載論文。ただし1-1aに記載した論文は除く。)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Journal, Publisher, Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-2b 計算機科学(Computer Science)関連トップ国際会議論文(査読有、本会議論文に限る)

(成果物論文リスト.xlsx > 1-2b_計算機科学関連トップカンファレンス記載の国際会議発表論文。ただし1-1bに記載した論文は除く。)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Conference, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-3a 工学(Engineering)関連トップ学術雑誌論文(査読有)

(成果物論文リスト.xlsx > 1-3a_工学関連トップジャーナル 記載の論文誌掲載論文。ただし1-1a, 1-2aに記載した論文は除く。)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Journal, Publisher, Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-3b 工学 (Engineering) 関連トップ国際会議論文 (査読有, 本会議論文に限る)

(成果物論文リスト.xlsx> 1-3b_工学関連トップカンファレンス記載の国際会議発表論文。ただし1-1b, 1-2bに記載した論文は除く。)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Conference, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-4a その他インパクトファクター (IF) 付学術雑誌論文 (査読有, レターを含む)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Journal, Publisher, Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, IF=xx, 20XX.*

[2]

1-4b その他インパクトファクター (IF) なし学術雑誌論文 (査読有, レターを含む)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Journal, Publisher, Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[2] 第一著者, 共著者, 論文題目, 雑誌題目, *Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[3]

1-4c その他国際会議論文 (フルペーパー査読有)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Conference, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

1-4d その他国際会議論文 (アブストラクト査読または査読なし)

[1] *First author, coauthors, Paper title, Conference, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

2. 筆頭著者として発表した学術雑誌等又は商業誌における解説、総説、著書

2-1 解説、総説

[1] 第一著者, 共著者, 解説・総説題目, 雑誌題目, *Vol. XX, No. XX, pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

2-2 著書

[1] 第一著者, 共著者, 書籍題目, 出版社, *ISBN No., 20XX.*

[2]

3. 筆頭著者として発表した国内学会・シンポジウム等における発表

3-1 国内学会・シンポジウム (フルペーパー査読有)

[1] 第一著者, 共著者, 論文題目, 会議名称, *pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

3-2 国内学会・シンポジウム (アブストラクト査読または査読無)

[1] 第一著者, 共著者, 論文題目, 会議名称, *pp.XX-XX, 20XX.*

[2]

4. 受賞 (国際, 国内の区分を記載してください。)

4-1 受賞 (国際)

[1] *First winner, co-winners, Title of the award, Awarding organization, Year and Month*

[2]

4-2受賞(国内)

- [1] 第一受賞者, 共同受賞者, 受賞題目, 授賞団体, 受賞年月
[2]

5. 特許等

(申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でかまわない。)

6. その他

(1～5の区分以外の成果物。シンポジウムやセミナーへの参加、筆頭著者としてではなく共著者として発表した国際／国内学会については、こちらに記載すること。)

7. 成果物件数のまとめ

(下記表に件数を入力してください。成果物がない場合は「0」と入力してください。)

	成果物	件数
1-1a	人工知能(Artificial Intelligence)関連トップ学術雑誌論文(査読有)	
1-1b	人工知能(Artificial Intelligence)関連トップ国際会議論文(フルペーパー査読有)	
1-2a	計算機科学(Computer Science)関連トップ学術雑誌論文(査読有)	
1-2b	計算機科学(Computer Science)関連トップ国際会議論文(フルペーパー査読有)	
1-3a	工学(Engineering)関連トップ学術雑誌論文(査読有)	
1-3b	工学(Engineering)関連トップ国際会議論文(フルペーパー査読有)	
1-4a	その他インパクトファクター(IF)付学術雑誌論文(査読有, レターを含む)	
1-4b	その他インパクトファクター(IF)なし学術雑誌論文(査読有, レターを含む)	
1-4c	その他国際会議論文(フルペーパー査読有)	
1-4d	その他国際会議論文(アブストラクト査読または査読なし)	
2-1	学術雑誌等又は商業誌における解説・総説	
2-2	著書	
3-1	国内学会・シンポジウム(フルペーパー査読有)	
3-2	国内学会・シンポジウム(アブストラクト査読または査読無)	
4-1	受賞(国際)	
4-2	受賞(国内)	
5	特許等	
6	その他	

(注)上の表と同じ数字を下記google formでも記載すること

<https://forms.gle/tsmZ8B1J4sWWmKfn6>

【04】自身の専門的な研究内容に人工知能(AI)を活かした取組の実現可能性
--

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1頁程度とすること。)

【AI活用への意欲】自身の研究にAIを活用することの意義、得られる効果などを、自身の業績を適宜引用しながら記述してください。

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

【05】志望動機、キャリアパス構想

① 志望動機(自身の能力向上のために本フェローシップをどのように活用したいか等)を記述してください。

② 自身が目指すキャリアパスとその実現のために、本フェローシップにおいてどのような取組を行うのか、記述してください。

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1頁程度とすること。)

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

① 志望動機(自身の能力向上のために本フェローシップをどのように活用したいか等)

② キャリアパスとその実現のために、本フェローシップにおいてどのような取組を行うのか